山口県労働委員会会長 様

(申立人) 住 所 *〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号* 名 称 *〇〇〇〇労働組合* 代表者 *執行委員長 〇 〇 〇 〇*

> (電話) <u>0000</u>—<u>00</u>—<u>000</u> (FAX) <u>000</u>—<u>00</u>—<u>000</u>0

不当労働行為救済申立書

労働組合法第7条第○号違反事件について、労働委員会規則第32条の規定により、下 記のとおり申し立てます。

記

第1 被申立人

住 所 00市00町00番00号

名称 0000株式会社

代表者 代表取締役 〇 〇 〇 〇

(電話) 0000-00-000(FAX) 0000-00-0000

第2 請求する救済の内容

第3 不当労働行為を構成する具体的事実

1 当事者等

- (1) 組合は、〇〇㈱に勤務する労働者を構成員とし、〇〇年〇〇月〇〇日に結成され申 立て時の組合員数は〇〇人である。
- (2) 会社は、〇〇製造を業務内容とし、〇〇年〇〇月〇〇日に創立された。資本金は〇〇万円で、申立時の従業員数は〇〇人である。

2 組合脱退勧奨

○○年○○月○○日、常務取締役Xは、会社応接室で、組合員B、Cに対して、「組合が強いと会社の経営上困る。組合を脱退してくれ。」と説得した。

3 解雇の経緯

OOFOOFOOF、会社は組合員Aを勤務成績不良の理由により、文書で解雇を通知したが、過去このような理由による解雇はなく、この解雇は、会社がAの書記長としての活発な組合活動を嫌悪した不利益取扱いであり、組合の弱体化を企図したものである。